

第39回高柳賞贈呈式が2025年12月20日 ホテルクラウンパレス浜松において挙行されました。



第39回高柳賞贈呈式 公益財団法人 浜松電子工学奨励会  
令和7年12月20日 於 ホテルクラウンパレス浜松

## 受賞者

### ■高柳記念賞

氏名 立岡 浩一 (たつおか ひろかず)

所属 静岡大学 工学部 教授

研究課題：「シリサイド系半導体と関連物質の新規材料物性探索及び応用展開に関する先駆的研究」

### ■高柳研究奨励賞

① 氏名 菊池 将一 (きくち しょういち)

所属 静岡大学 工学部 准教授

研究課題：「常温・大気圧環境での窒化薄膜創製プロセスの開発」

- ② 氏名 佃 諭志 (つくだ さとし)  
所属 静岡理工科大学 理工学部 准教授  
研究課題：「半導体量子ドットの合成と光電子デバイスへの応用に関する研究」

③ 氏名 阪東 勇輝 (ばんどう ゆうき)  
所属 浜松医科大学 医学部 助教  
研究課題：「光学的手法を用いた生体電気信号計測および操作技術の確立」

④ 氏名 安彦 修 (やすひこ おさむ)  
所属 浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 サブリーダー  
研究課題：「屈折率分布を用いた散乱補正による細胞組織の非染色深部イメージング」

中日新聞 (2025年12月21日)



高柳記念賞を受けた立岡教授（前列左から3人目）ら＝浜松市中央区

## 立岡教授(静岡大)に高柳記念賞

浜松で贈呈式 電子科学研究に功績

浜松電子工学奨励会は20日、電子科学分野の優れた

研究を表彰する高柳賞の贈呈式を浜松市中央区で行つた。最高賞の高柳記念賞に

静岡大学術院工学領域の立岡浩一教授(65)を選び、賞金200万円を贈った。

立岡教授は「シリサイド系半導体と関連物質の新規材料物性探索と応用展開」について国際的に先导的な研究を進め、分野の発展に貢献したことが評価された。立岡教授は受賞者を代表して「浜松の電子工学の伝統を次世代につなげ、産業や地域に貢献し

ていきたい」とあいさつした。

若手研究者らが対象の高柳研究奨励賞は同領域の菊池将一准教授(44)、静岡理

工科大理工学部の田舩志准教授(46)、浜松医大医学部の阪東勇輝助教(42)、浜松

ホトニクス中央研究所の安彦修サブリーダー(33)の4人が受賞した。

高柳賞はブラウン管による映像受信に世界で初めて成功し、「日本のテレビの父」と呼ばれた浜松市出身の高柳健次郎氏(1899~1990年の功績をたたえて創設した。

## 歴代高柳記念賞贈呈一覧

回数	年度	氏名	研究題目	所属・職名	贈呈額(万円)
39	R7 (2025)	立岡浩一	シリサイド系半導体と関連物質の新規材料物性探索及び応用展開に関する先駆的研究	静岡大学学術院工学領域教授	200

## 歴代高柳研究奨励賞贈呈一覧

回数	年度	氏名	研究題目	所属・職名	贈呈額(万円)
39	R7 (2025)	菊池将一	常温・大気圧環境での窒化薄膜創製プロセスの開発	静岡大学学術院工学領域准教授	50
		佃 諭志	半導体量子ドットの合成と光電子デバイスへの応用に関する研究	静岡理科大学理工学部准教授	50
		阪東 勇輝	光学的手法を用いた生体電気信号計測および操作技術の確立	浜松医科大学医学部助教	50
		安彦 修	屈折率分布を用いた散乱補正による細胞組織の非染色深部イメージング	浜松ホトニクス(株)中央研究所サブリーダー	50



三村秀典理事長挨拶



高柳記念賞受賞・立岡浩一氏



高柳研究奨励賞受賞・菊池将一氏



高柳研究獎勵賞受賞・佃 諭志氏



高柳研究獎勵賞受賞・阪東勇輝氏



高柳研究獎勵賞受賞・安彦 修氏



来賓祝辞（金原和秀静岡大学理事・副学長）



選考経過報告（早川泰弘選考委員長）



受賞者代表挨拶（立岡浩一氏）



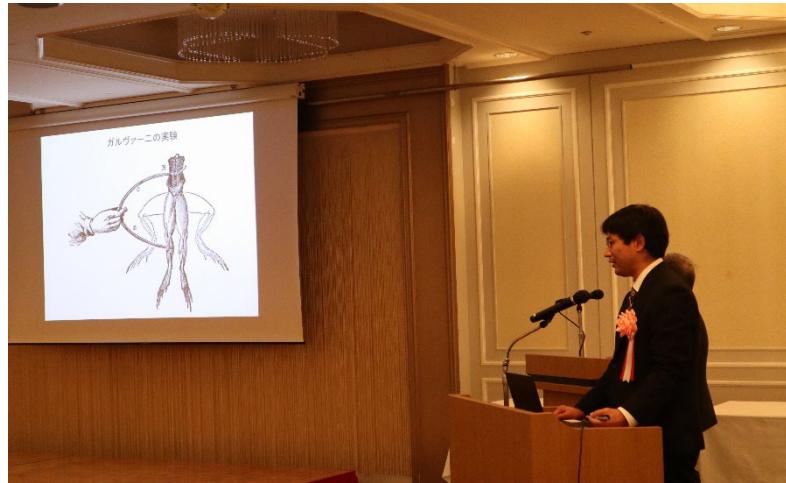
研究内容説明・立岡浩一氏



研究内容説明・菊池将一氏



研究内容説明・佃 諭志氏



研究内容説明・阪東勇輝氏



研究内容説明・安彦 修氏



情報交換会挨拶・青木 徹電子工学研究所長